

うつのみや路物語

宮ストリートストーリー

みち
路の数だけ物語がある。
うつのみやの路を紹介
します。

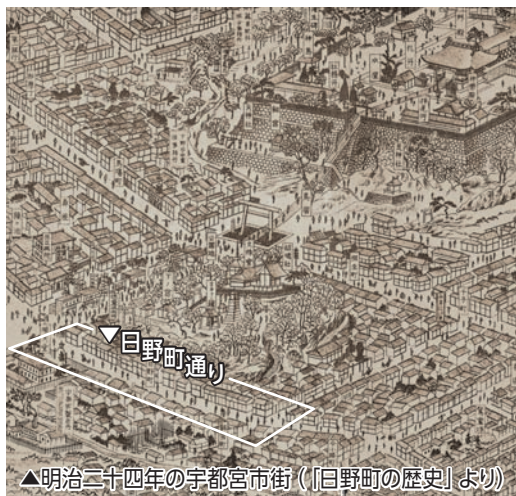


日野町商店街振興組合
理事長
高橋 信夫さん

日野町通り

宇都宮で最も古い商店街といわれている日野町通り。1568年に宇都宮城主となった蒲生氏が近江（現在の滋賀県）出身だったため、近江の日野商人が移り住み、「日野の人の町」と呼ばれるようになったことが名前の由来です。左の鳥瞰図は、明治24年の宇都宮市街を描いたもので、古くから日野町通りかいわいが栄えていたことが分かります。

私が子どものころは、この通りで全ての物を賄うことができ、



▲明治二十四年の宇都宮市街（『日野町の歴史』より）

「赤ちゃん用品から仏壇までそろう」といわれていたほど多種多様なお店が軒を並べていました。現在も続く古くからのお店が日野町通りの伝統

を感じさせますが、最近では、美容院などのサービス業が増えてきたことも特徴の一つとなっています。



▲現在の日野町通り



平成10年には街路が整備されて歩道が広がり、人々がゆっくり歩くことのできる通りになりました。西側からの一方通行化と併せて、自動車のスピードを抑制するため、車道を曲線に設計することで安全性も高まりました。また、植えられている木や花が醸し出す雰囲気が入って、お店を出したという人もいます。来街者も増えたように感じます。

落ち着いた大人の雰囲気漂う日野町通り。ぜひ、足を運んで、ゆったりとした時間を楽しんでください。